

(1-1) IPD対象者 (フェロー) 必修科目

必修科目
1か月以上の長期インターンシップ インターンシップ終了時(2か月以上の場合には1か月ごと)の報告書を提出すること
本コンソーシアム指定のeラーニングによる研究者行動規範教育

(1-2) IPD対象者 (一般) 必修科目

必修科目
本コンソーシアム指定のeラーニングによる研究者行動規範教育

(2) IPD対象者 (フェロー/一般) 選択科目

科目名	単位数	修得カテゴリー			実施主体
		A: 計算物質科学の幅広い素養	B: HPC技術	C: ビジネス・リサーチ・スキル	
合宿セミナー	2.5	○	○	○	運営協議会
ビジネス・リサーチ・スキル研修	1			○	東北大学
計算物質科学配信セミナー	1	○			東北大学/ 運営協議会
IPDプログラム成果報告会 (PCoMSシンポジウム) : 発表と全日程参加	1	○			運営協議会
産官学連携交流会	1			○	運営協議会 /東北大学
HPC技術講習会	1		○		運営協議会 /東北大学
インターンシップ参加のための集中講義	0.5			○	大阪大学
物質科学キャリアアップ特論 (二ヶ月、週ニコマ、予定)	1			○	大阪大学
CMDワークショップ (5日間集中)	2	○	○		大阪大学
計算科学技術特論(配信講義)	1		○		大阪大学
Business communication	1			○	大阪大学
博士人材スキルアップ研修	1			○	東京大学
博士人材・企業ニーズ マッチングワークショップ	1			○	東京大学
International Workshop on Tensor Networks/Quantum Many-Body Problems	1	○			東京大学
プログラムハンズオン講習会	1	○	○		東京大学
産官学連続研究会	1			○	東京大学
見える化シンポジウム	1			○	東京大学
理論(インフォーマル)セミナー	1	○			東京大学
CMSI計算科学技術特論A, B, C	1	○	○		東京大学
分子シミュレーションスクール	1	○			分子研
量子化学スクール	0.5	○			分子研

* 修得カテゴリー:

IPDプログラムの目的である”計算物質科学の幅広い素養とハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)技術を持ち、かつ、長期インターンシップ等による所属機関以外の異なる研究環境を経験し、企業のニーズ等の理解や国際的な研究動向等を理解した博士課程後期学生(DC)やポスドク(PD)の育成”を基に、主たる育成要素である A: 計算物質科学の幅広い素養、B: HPC技術、C: ビジネス・リサーチ・スキルの3つとした。

* 単位修得方法

所属大学・機関に関わらず、上記表「選択科目」の全ての受講が可能。(PCoMS運営協議会; PCoMS全体の企画・運営部門)

(3) IPDプログラム修了要件

【IPD対象者 (フェロー)】

- ・ (1-1) の必修科目を全て終了すること
- ・ 選択科目のうち3単位以上を修得し、かつ3つの修得カテゴリー全てで1科目(0.5単位)以上を取得すること

【IPD対象者 (一般)】

- ・ (1-2) の必修科目を全て終了すること
- ・ 選択科目のうち3単位以上を修得し、かつ3つの修得カテゴリー全てで1科目(0.5単位)以上を取得すること